

2018年

日時

2月22日(木)
13:30～17:20

会場

グランドアーク半蔵門
3階「華」 (東京都千代田区隼町1-1)



主催

京都産業大学社会安全・警察学研究所
(田村プロジェクト ※)
警察大学校警察政策研究センター

2/16 締切
入場無料
※事前申し込み制

シンポジウム 「児童虐待事案への 刑事的介入における 多機関連携」

プログラム

13:30 基調報告

田村 正博 (京都産業大学教授)
「児童虐待事案における警察の刑事的介入の現状と課題」
(個人保護型捜査における関係機関との連携を中心に)

14:20 報告①

岡 聰志 (元横浜市南部児童相談所長)
「児童相談所と警察の連携～児童相談所調査を踏まえて」

14:40 報告②

仲 真紀子 (立命館大学教授)
「子どもの司法面接・協同面接の現状と課題」

15:00 報告③

酒井 邦彦 (元広島高等検察庁検事長)
「児童虐待事案への検察の対応～他機関との連携を中心に」

15:20 休憩(20分)

15:40 パネルディスカッション

コーディネーター 北村 博文 (警察政策研究センター所長)
パネリスト 滝澤 依子 (警察庁少年課長)
増井 敦 (京都産業大学准教授)
上記報告者

17:20 閉会

基調報告



田村 正博

(京都産業大学教授)

警察大学校長、福岡県警察本部長等を務め、現在、京都産業大学社会安全・警察学研究所長として、他のメンバーとともに、プロジェクトの調査研究に当たっています。児童虐待事案に対する警察の「個人保護型捜査」について、現状を明らかにし、関係機関との連携における課題を皆さんとともに考えたいと思います。

シンポジウム 報告者のご紹介



■基調報告 13:30～

「児童虐待事案における警察の刑事的介入の現状と課題」
(個人保護型捜査における関係機関との連携を中心に)

田村 正博 (京都産業大学教授)



岡 聰志

(元横浜市南部児童相談所長)

■報告① 14:20～

「児童相談所と警察の連携～児童相談所調査を踏まえて」

横浜市に社会福祉職として入り、2か所の児童相談所長を務めました。昨年2月に児童相談所長を対象に実施した調査の結果を中心に報告します。児童相談所と警察との連携は以前と比べ進んでいますが、児童相談所から見た警察に対する期待と理解不足や誤解の実態を提示することで相互理解をすすめるための一助になればと考えています。



仲 真紀子

(立命館大学教授)

■報告② 14:40～

「子どもの司法面接・協同面接の現状と課題」

立命館大学総合心理学部教授。専門は発達心理学・認知心理学。研究課題は「司法面接」です。司法面接とは、被害者、目撃者となった可能性のある子どもから、できるだけ正確な情報を、できるだけ精神的負担をかけずに聴取する面接法です。現在、多機関による司法面接を支援するプロジェクトを実施しています。



酒井 邦彦

(元広島高等検察庁検事長)

■報告③ 15:00～

「児童虐待事案への検察の対応～他機関との連携を中心に」

検察官出身で、高松・広島高等検察庁検事長などを務め、現在弁護士をしております。高松高検において、児童虐待が深刻化する中で、検察の「Child First」へのパラダイムシフトを図ると共に、警察、児童相談所、病院、学校、市町村等の多機関連携を進めました。それらの経験を下に、子ども虐待防止の今後の課題等について議論したいと思っております。

問い合わせ
申し込み先

警察大学校 警察政策研究センター 内海、柿沼

Tel: 042-354-3550 (内線3412,3416) Fax: 042-330-1308

E-mail: forum@npa.go.jp ※申し込み締め切り: 2月16日(金)